

アクアラインマラソンで感じた

おもてなしの心

市長 米本 弥一郎



秋晴れの下「ちばアクアラインマラソン2022」に参加し、皆さまの応援により完走できました。

効率的に練習をするために、ランニング用の腕時計を購入して走り始めて、少しずつ距離を伸ばしました。練習を始める、と、たくさんの方があつたのです。足の長さ・幅を計測し、シューズをサイズアップ。足のアーチが弱いと指摘され、足指での

じゃんけんやマッサージなどに取り組み、文字通り爪先まで体のことを意識する機会でした。加圧ストッキングが疲労軽減、ケガの防止になることも体感しました。

公務で出席した行事の際に、多くの市民の皆さまから「マラソンがんばれ」と声をかけていただき、応援を励みに練習を重ね、レース当日を迎えました。

受け付け後、旭市選抜の選手を激

励し、自らも奮い立たせました。スタート直前の独特な緊張感は、現役時代そのままでした。熊谷知事の号砲で出発し、予定より早いペースでアクアラインに到達。沿道の小中学生らの大声援には「ごめんね、おじさん手を振る余裕はないんだよ」と心で詫びながら走りました。

アクアラインでは、心地よい潮風と陽光を浴びながら海の上を走る最高の体験でした。上空のヘリコプターや県警の船からも応援をいただきました。海はたるとの折り返し後、役員さんの撤収しながらの応援には涙が出そうでした。

明年2月には、旭市飯岡しおさいマラソン大会が開催されます。ボランティアやスタッフの皆さまには、これまで以上のおもてなしの心で対応していただきたいと考えながら旭に帰ってきました。